

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番1他 (電話) 042-637-3111	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身に付け、職業人としての 自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電子工学コースでは、総務省による無線技術者養成の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、無線通信技術者及び電子回路設計・製作のできるエンジニアの養成を目的としている。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
工業	工科技術専門課程	電子・電気科 (電子工学コース /オーディオ・家電コース)	2年(昼)	1,710単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学 大臣告示第153号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		1350単位時間 (又は90単位)	単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	840単位時間 (又は28単位)	—単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人の内数		101人		2人	2人	4人	
学期制度	■前学期：4月1日～9月30日 ■後学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定		

長期休み	<b>■学年始め</b> ：4月1日 <b>■夏季</b> ：7月21日～8月31日 <b>■冬季</b> ：12月23日～翌年1月8日 <b>■春季</b> ：3月18日～3月31日 <b>■学年末</b> ：3月31日	卒業・進級条件	<b>進級要件</b> ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること  <b>卒業要件</b> ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること
生徒指導	<b>■クラス担任制</b> （有・無） <b>■長期欠席者への指導等の対応</b>  当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。	課外活動	<b>■課外活動の種類</b> 卒業作品展、ボランティア活動、体育祭、学園祭  <b>■サークル活動</b> （有・無）
就職等の状況	<b>■主な就職先、業界等</b> 一幸電子工業(株) 東洋エンジニアリング(株) 東洋電溶(株)  <b>■就職率</b> ※1 94.4% <b>■卒業者に占める就職者の割合</b> ※2 83.6% <b>■その他</b> （任意）  （平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報）	主な資格・検定	一・二級陸上特殊無線技士、工事担任者、二級陸上無線技士 ほか
中途退学の現状	<b>■中途退学者</b> 0名 <b>■中退率</b> 0.0% 平成25年4月1日在学者 124名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 124名（平成24年3月卒業生を含む）  <b>■中途退学の主な理由</b> 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療  <b>■中退防止のための取組</b> 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL： <a href="http://www.neec.ac.jp/">http://www.neec.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。

授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学修評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
山野 大星	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
須田 徳光	日本工学院八王子専門学校	平成27年3月31日
菊地 弘光	一般財団法人 家電製品協会 運営評議会委員	平成27年3月31日
天野 祐一	東洋エンジニアリング (株)	平成27年3月31日
武田 道朗	一幸電子工業 (株)	平成27年3月31日

### (開催日時)

第1回 平成26年8月27日 10:00~10:30 11:00~11:15

第2回 平成27年3月27日 10:00~10:30 11:00~11:15

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行なうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エレクトロニクス通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	(株) サンライズラボ
電子回路製作実習1	増幅回路や発振器などの設計・製作を行います。	(株) サンライズラボ
電子回路製作実習2	マイコンを応用した回路の設計・製作を行います。	(株) サンライズラボ
ホームエレクトロニクス実験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習します。	(株) サンライズラボ
家電機器修理実習	テレビなど家電製品の故障発見・対応などについて実習します。	(株) サンライズラボ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新の技術力と技能、人間力を修得する。

新たな技術の研究や理解等は教員においては必須のスキルとなっている。また、社会に出た後は、技術だけでなく人間としての成長を求める企業は多いため、学生に技術に加え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけてもらうための教員研修の実施・継続が不可欠と位置づける。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任期
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー	平成27年3月31日
細谷 幸雄	八王子商工会議所 事務局長	平成27年3月31日
森 健介	白梅学園高等学校 副校長	平成27年3月31日
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成27年3月31日
石川 仁嗣	医療法人社団健心会みなみ野ハートクリニック 事務長	平成27年3月31日
杉山 一夫	株式会社リンキィディング 代表取締役	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac\\_report.pdf](http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac\\_report.pdf](http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf)

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 電子・電気科 電子工学コース/オーディオ家電コース) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	30	2	○		
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・後	30	2	○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○		
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○		
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○		
○			テクノロジー基礎2	ものづくり解析などに必要な数学を学びます。	1・後	60	4	○		
○			デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○		
○			電気回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・前	60	4	○		
○			電気回路2	直流回路などの電気回路について学びます。	1・後	60	4	○		
○			電子回路1	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○		
	○		ビデオ技術	画像や映像の記録、伝送の方法について学びます。	1・前	30	2	○		
	○		オーディオ技術	スピーカーやマイクロホン、アンプなどオーディオ機器について学びます。	1・前	30	2	○		

	○		家電製品技術 1	テレビ受像器、地上デジタル、HDD・DVDレコーダなど製品技術を学びます。	1・ 後	60	4	○		
	○		資格対策講座 1	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・ 前	60	4	○		
	○		資格対策講座 2	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・ 後	60	4	○		
○			電子工作実習 1	オーディオアンプなど簡単な回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・ 前	60	2			○
○			電子工作実習 2	イコライザーアンプなど回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・ 後	60	2			○
○			プログラミング実習	C言語プログラミングを行います。	1・ 後	60	2			○
○			エレクトロニクス基礎実験	デジタル回路、パルス回路、アンプなど電子回路の動作を学びます	1・ 後	60	2			○
○			テクノロジー実習	部品や簡単な回路の動作を実験を通じ学びます。	1・ 前	60	2			○
○		○	パソコン実習	WindowsやOffice、インターネット利用上のマナーを学びます。	1・ 前	60	2			○
		○	インターンシップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・ 通	30	1			○
○			キャリアデザイン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・ 前	30	2	○		
		○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・ 後	30	1			○
		○	英語2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・ 前	30	2	○		
○			電子回路2	発振回路や電源回路、オペアンプを使用した回路など、様々な電子機器の動作について学びます。	2・ 前	60	4	○		
○			マイクロコンピュータ	マイクロコンピュータのしくみや動作を学びます。	2・ 後	60	4	○		
○			光エレクトロニクス	光通信や半導体レーザーなどについて学びます。	2・ 後	30	2	○		
○			通信システム1	携帯電話などにも用いられる通信技術を学びます。	2・ 前	30	2	○		

○		通信システム 2	通信技術の応用、実際の通信機器について学びます	2・ 前	30	2	○		
○		計測技術	電子機器の計測方法、計測器の原理などについて学びます。	2・ 後	30	2	○		
	○	電子回路設計	増幅回路や発振器などの設計方法を学びます。	2・ 前	30	2	○		
	○	電子応用技術	カーナビゲーションシステムなど電波応用技術など様々な電子技術の活用方法を学びます。	2・ 後	60	4	○		
	○	オーディオ・ビデオ機器	ホームシアターなど、デジタル AV 技術を学びます。	2・ 後	60	4	○		
	○	家電製品技術 2	様々な家電製品の技術を学びます。	2・ 後	60	4	○		
	○	資格対策講座 3	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	2・ 前	30	2	○		
	○	資格対策講座 4		2・ 後	60	4	○		
	○	資格対策特別 講座	様々な資格対策を行います。	2・ 前	30	2	○		
○		エレクトロニクス通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	2・ 後	30	1			○
	○	電子回路製作 実習	増幅回路や発振器などの設計・製作を行います。	2・ 前	60	2			○
	○	デジタルテクノロジー実験	デジタルフィルタなど DSP の基礎などのデジタル技術を実験します。	2・ 後	60	2			○
	○	家電機器修理 実習	テレビなど家電製品の故障発見・対応などについて実習します。	2・ 前	30	1			○
	○	ホームエレクトロニクス実験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習します。	2・ 後	60	2			○
	○	卒業製作	ものづくりを通じ2年間で習得した技術の集大成します。	2・ 後	120	4			○
		○ インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・ 通	30	1			○
合計				46 科目		2190 単位時間( 118 単位)			